

2. 学 部 規 則 等

神戸大学理学部規則

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成25年4月1日

(趣 旨)

第1条 この規則は、神戸大学教学規則（平成16年4月1日制定。以下「教学規則」という。）に基づき、神戸大学理学部（以下「本学部」という。）に関する必要な事項について定めるものとする。

(本学部における教育研究上の目的)

第1条の2 本学部は、自然科学の基礎である理学諸分野を探究することによって自然の理解を深め、社会の進歩に貢献することを教育研究上の目的とする。

(学 科)

第2条 本学部に次の学科を置く。

数 学 科
物 理 学 科
化 学 科
生 物 学 科
地球惑星科学科

(各学科における教育研究上の目的)

第2条の2 各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 数学科

広い知識を授けるとともに、解析数理、構造数理、応用数理の教育研究を行い、教養並びに数学及びその応用に関する専門的な知識を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(2) 物理学科

広い知識を授けるとともに、物質の構造及び機能を根本原理から理解するための教育研究を行い、教養及び物理学に関する専門的な知識を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(3) 化学科

広い知識を授けるとともに、新しい概念及び学際領域の創出を意図した化学の教育研究を行い、教養及び幅広い化学の専門的な知識を身に付け、未開拓の分野への意欲的取り組み並びに問題認識及び解決能力を身に付けた創造力のある人材を養成することを目的とする。

(4) 生物学科

広い知識を授けるとともに、分子・細胞レベルから種及び生態系レベルまでの基礎生物学的教育研究を行い、教養及び生物学に関する専門的な知識並びに科学的な考え方を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(5) 地球惑星科学科

広い知識を授けるとともに、地球及び太陽系・宇宙についての教育研究を行い、教養及び地球惑星科学に関する専門的知識並びに自然の中から自ら問題を発見し解決する能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(授業科目及び単位数)

第3条 本学部における授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

- 2 前項の授業科目の各年次の配当は、別に定める。
- 3 第1項に規定するもののほか、臨時に授業科目を開設することがある。
- 4 前項の授業科目及び単位数並びに授業科目の各年次の配当は、開設の都度定める。

(単位の基準)

第4条 各授業科目の単位の計算は、次の基準による。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習、実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 数学講究については、論文等をもって8単位とする。
- (4) 特別研究については、論文等をもって8単位、12単位又は16単位とする。

(履修要件)

第5条 学生は、別表第2に定めるところに従い、所属する学科の所定の単位を修得しなければならない。

- 2 外国人留学生が教学規則第26条第2項の規定により開設された授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(履修科目の登録の上限)

第6条 教学規則第29条第1項の規定に基づく履修科目の登録の上限は、50単位とする。ただし、一学期間に登録できる履修科目は、原則として28単位までとする。

- 2 前条の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることがある。
- 3 前項に規定する履修科目の登録の上限を超える者の基準については、別に定める。

(授業科目の履修)

第7条 学生は、每学期指定の期日までに、所定の履修・受験届を提出しなければならない。

- 2 他学部の授業科目の履修については、神戸大学理学部長（以下、「学部長」という。）を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。
- 3 前項の授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(他大学の授業科目の履修)

第8条 学生は、本学部と協定している他大学（外国の大学を含む。以下同じ。）の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定により修得した単位数は、60単位を限度として、別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第9条 教学規則第35条第1項の規定に基づく単位の認定は神戸大学理学部教授会（以下、「教授会」という。）の議を経て行う。

- 2 前項の規定により認定された単位数は、前条第2項の単位数と合わせて60単位を限度として、別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第10条 教学規則第36条第1項に規定する既修得単位の認定は、教授会の議を経て行う。

2 既修得単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の指定の期日までに必要な書類を学部長に提出しなければならない。

3 第1項の規定により認定された単位数は、編入学及び再入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第8条第2項及び前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を限度として、別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(編入学者及び再入学者の修業年数等)

第11条 教学規則第37条の規定に基づく編入学者及び再入学者の修業すべき年数、履修すべき科目及びその単位等については別に定める。

(試験)

第12条 試験は、科目試験及び論文試験とする。

(科目試験)

第13条 科目試験は、授業が終了した学期末に行う。ただし、必要がある場合は、学期末以外の時期に行うことがある。

2 事故等のため科目試験を受けることができなかつた者に対しては、教授会の議を経て、別途に試験を行うことがある。

(論文試験)

第14条 論文試験は、数学講究又は特別研究の結果の審査及び口頭試問とする。

2 論文試験を受ける者は、原則として各学科所定の講義、演習、実験・実習の単位を修得していなければならない。

(成績評価基準)

第15条 教学規則第30条に規定する成績評価基準については、別に定める。

(卒業)

第16条 教学規則第22条第1項に規定する期間在学し、第5条に規定する要件を満たした者について、卒業を認定する。

2 教学規則第22条第2項に規定する早期卒業の認定の基準は、別に定める。

(転学部)

第17条 他学部の学生で、所属学部長の承認を得て本学部に転学部を志望する者があるときは、教授会の議を経て、許可することができる。

2 前項の転学部は、学年の初めに行うものとする。

(転学科)

第18条 転学科を志望する者があるときは、教授会の議を経て、許可することができる。

2 前項の転学科は、学年の初めに行うものとする。

(特別聴講学生)

第19条 本学部と協定している他大学の学生で、本学部の特別聴講学生を志願する者は、別に定めるところにより、所属大学を経由して学部長に願い出るものとする。

2 特別聴講学生の在学期間は、その履修する授業科目が開講される期間とする。

(科目等履修生)

第20条 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(聴講生)

第21条 聴講生に関する事項は、別に定める。

(研究生)

第22条 研究生に関する事項は、別に定める。

(教員の免許状授与の所要資格の取得)

第23条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規制（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 本学部において、所要資格を取得できる教員の免許状の種類及び免許教科は、別表第3のとおりとする。

(学芸員の資格の取得)

第23条の2 学芸員の資格を取得しようとする地球惑星科学科の学生は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 前項の規定に基づく科目の履修については、別に定める。

(雑則)

第24条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、教授会が定める。

途中の附則（略）

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。
- 3 前項に規定する者に対して、改正後の授業科目を履修させる必要が生じた場合の取扱いについては、教授会が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

別表 第1

授業科目及び単位数（第3条関係）

イ 本学部共通

授業科目の区分等		授業科目	単位	備考
教 養 原 論	人間形成と思想	哲学	2	
		行為と規範	2	
		論理学	2	
		心理学	2	
		心と行動	2	
		教育学	2	
		教育と人間形成	2	
		科学技術と倫理	2	
	文学と芸術	日本の文学	2	
		世界の文学	2	
		言語と文化	2	
		伝統芸術	2	
		芸術と文化	2	
	歴史と文化	日本史	2	
		西洋史	2	
		アジア史	2	
		考古学	2	
		歴史と現代	2	
		科学史	2	
		芸術史	2	
	人間と社会	社会学	2	
		社会思想史	2	
		地理学	2	
		文化人類学	2	
		現代社会論	2	
		越境する文化	2	
		生活環境と技術	2	
		学校教育と社会	2	
法と政治	法の世界	2		
	社会生活と法	2		
	国家と法	2		
	政治の世界	2		
	現代社会と政治	2		
経済と社会	経済入門	2		
	経済社会の発展	2		
	現代の経済	2		
	企業と経営	2		
数理と情報	構造の数理	2		
	現象の数理	2		
	数理の世界	2		
	「カタチ」の文化学	2		
	「カタチ」の科学	2		
		情報の世界	2	

教 養 原 論	物質と技術	素粒子と宇宙	2		
		現代の物性科学	2		
		分子の世界	2		
		物質の成り立ち	2		
		資源・材料とエネルギー	2		
		ものづくりと科学技術	2		
		惑星系の起源・進化・多様性	2		
	生命と環境	身体の成り立ちと働き	2		
		健康と病気	2		
		生命の成り立ちと営み	2		
		生物の多様性と進化	2		
		生物の生態と自然環境	2		
		生物資源と農業	2		
		食と健康	2		
	総合教養	地球と惑星	2		
		社会と人権	2		
		神戸大学の研究最前線	2		
		神戸大学史	2		
		社会科学のフロンティア	2		
		海への誘い	2		
		瀬戸内海学入門	2		
		国際協力の現状と課題	2		
		阪神・淡路大震災	2		
		環境学入門	2		
		E S D基礎(持続可能な社会づくり)	2		
		企業社会論	2		
	外 国 語 科 目	外国語第 I	英語リーディング I	1	
			英語リーディング II	1	
			英語リーディング III	1	
英語オーラル I			1		
英語オーラル II			1		
英語オーラル III			1		
英語アドバンスト A			1		
英語アドバンスト B			1		
英語アドバンスト C			1		
外国語第 II		独語 I A	1		
		独語 I B	1		
		独語 II A	1		
		独語 II B	1		
		独語 III A	1		
		独語 III B	1		
		仏語 I A	1		
		仏語 I B	1		
	仏語 II A	1			
	仏語 II B	1			
	仏語 III A	1			
仏語 III B	1				

外国語科目	外国語第Ⅱ	中国語ⅠA	1	
		中国語ⅠB	1	
		中国語ⅡA	1	
		中国語ⅡB	1	
		中国語ⅢA	1	
		中国語ⅢB	1	
		ロシア語ⅠA	1	
		ロシア語ⅠB	1	
		ロシア語ⅡA	1	
		ロシア語ⅡB	1	
		ロシア語ⅢA	1	
		ロシア語ⅢB	1	
		情報科目	情報基礎	1
情報科学	2			
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	2		
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1		
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1		
資格免許のための科目	日本国憲法	2		
	数学科教育論A	2		
	数学科教育論B	2		
	数学科教育論C	2		
	数学科教育論D	2		
	理科教育論A	2		
	理科教育論B	2		
	理科教育論C	2		
	理科教育論D	2		
	物理学実験	2		
	化学実験	2		
	生物学実験	2		
	地学実験	2		
	教職実践演習(中・高)	2		
	教育実習事前事後指導	1		
	中学校教育実習Ⅰ	2		
	中学校教育実習Ⅱ	4		
	高等学校教育実習	2		
	博物館資料保存論	2		
	博物館実習	3		
その他必要と認める科目	総合科目Ⅰ		その都度定める。	
	総合科目Ⅱ		その都度定める。	

□ 数学科 (◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位	
共通専門基礎科目	◎	微分積分学 1	2	専門	○	代数学Ⅲ・同演習	3	
	◎	微分積分学 2	2		○	代数学Ⅳ	2	
	◎	線形代数学 1	2		○	代数学Ⅴ	2	
	◎	線形代数学 2	2		○	代数学Ⅵ	2	
	○	物理学 C 1	2		○	幾何学Ⅰ・同演習	3	
	○	物理学 C 2	2		○	幾何学Ⅱ・同演習	3	
	○	物理学 C 3	2		○	幾何学Ⅲ	2	
	○	物理学 C 4	2		○	幾何学Ⅳ	2	
	○	基礎無機化学	2		○	幾何学Ⅴ	2	
	○	生物学Ⅰ	2		○	幾何学Ⅵ	2	
専門科目	◎	解析学序論Ⅰ	2	科目	○	確率論Ⅰ	2	
	◎	解析学序論Ⅱ	2		○	確率論Ⅱ	2	
	◎	数学通論	2		○	離散数学Ⅰ	2	
	○	数学演義	2		○	離散数学Ⅱ	2	
	○	数学要論Ⅰ	2		○	計算数学Ⅰ・同演習	3	
	○	数学要論Ⅱ・同演習	3		○	計算数学Ⅱ	2	
	○	線形代数学Ⅲ	2		○	計算数学Ⅲ	2	
	○	解析学Ⅲ	2		○	表現論Ⅰ	2	
	○	解析学Ⅳ	2		○	表現論Ⅱ	2	
	○	解析学Ⅴ	2		○	応用解析学	2	
	○	解析学Ⅵ・同演習	3		○	解析学特論	2	
	○	解析学Ⅶ	2		○	代数学特論	2	
	○	解析学Ⅷ	2		○	幾何学特論	2	
	○	関数論・同演習	3		○	数学特論	2	
	○	複素解析	2		○	応用数学特論	2	
	○	関数方程式論Ⅰ	2		○	特別講義	その都度定める	
	○	関数方程式論Ⅱ	2		◎	数学講究	8	
	○	関数解析学Ⅰ	2		経済・数理プログラム教育コースの科目	○	数学要論Ⅱ	2
	○	関数解析学Ⅱ	2			○	解析学Ⅵ	2
	○	代数学Ⅰ・同演習	3					
○	代数学Ⅱ	2						

備考 応用解析学, 解析学特論, 代数学特論, 幾何学特論, 数学特論, 応用数学特論, 特別講義については, テーマが異なる場合には, それぞれ二科目以上履修することができる。

ハ 物理学科 (◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を, ●印は選択必修科目Ⅰ類を, △印は選択必修科目Ⅱ類を, ◇印は特別研究A(実験系)又は特別研究B(理論系)のうち, いずれかが必修科目であることを示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位
共通専門基礎科目	◎	微分積分学Ⅰ	2	専門科目	●	統計物理学Ⅱ演習	2
	◎	微分積分学Ⅱ	2		△	解析学Ⅲ	2
	◎	線形代数学Ⅰ	2		●	物理数学基礎	2
	◎	線形代数学Ⅱ	2		●	物理数学Ⅰ	2
	○	基礎無機化学	2		●	物理数学Ⅱ	2
	○	基礎有機化学	2		●	物理数学Ⅰ演習	2
	○	基礎物理化学	2		●	物理数学Ⅱ演習	2
	◎	物理学実験	2		●	量子力学Ⅰ	2
	○	生物学Ⅰ	2		●	量子力学Ⅱ	2
	○	基礎地学	2		△	量子力学Ⅲ	2
	○	地球物質学	2		●	量子力学Ⅰ演習	2
専門科目	●	力学Ⅰ	2	●	量子力学Ⅱ演習	2	
	●	力学Ⅱ	2	△	物理学情報処理演習	2	
	△	解析力学	2	△	相対性理論	2	
	●	力学Ⅰ演習	2	△	宇宙物理学	2	
	●	力学Ⅱ演習	2	△	一般相対性理論	2	
	◎	現代物理学	2	△	物性物理学Ⅰ	2	
	●	波動物理学	2	△	物性物理学Ⅱ	2	
	●	電磁気学Ⅰ	2	△	原子核物理学	2	
	●	電磁気学Ⅱ	2	△	素粒子物理学	2	
	△	電磁力学	2	●	物理実験学	2	
	●	電磁気学Ⅰ演習	2	◎	物理学実験Ⅰ	3	
	●	電磁気学Ⅱ演習	2	●	物理学実験Ⅱ	3	
	●	熱統計物理学	2	●	物理学実験Ⅲ	3	
	●	統計物理学Ⅰ	2	△	特別講義	その都度定める	
	●	統計物理学Ⅱ	2	◇	特別研究A(実験系)	12	
	●	統計物理学Ⅰ演習	2	◇	特別研究B(理論系)	8	

備考 特別講義については, テーマが異なる場合には, 二科目以上履修することができる。

二 化学科 (◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位
共通専門基礎科目	○	微分積分学 1	2	専門科目	◎	無機化学 I	2
	○	微分積分学 2	2		◎	無機化学 II	2
	○	線形代数学 1	2		○	無機化学 III	2
	○	線形代数学 2	2		◎	分析化学 I	2
	○	物理学 B 1	2		○	分析化学 II	2
	○	物理学 B 2	2		○	固体化学	2
	○	物理学 B 3	2		○	溶液化学	2
	○	物理学 C 1	2		○	有機化学基礎	2
	○	物理学 C 2	2		◎	有機化学 I	2
	○	物理学 C 3	2		◎	有機化学 II	2
	○	物理学 C 4	2		◎	有機化学 III	2
	○	生物学 I	2		◎	生物化学 I	2
	○	基礎地学	2		○	生物化学 II	2
	○	物理学実験	2		○	生物化学 III	2
	◎	化学実験	2		○	有機構造化学	2
	○	生物学実験	2		○	有機合成化学	2
専門科目	○	物理化学基礎	2	◎	化学熱力学演習	1	
	◎	化学熱力学 I	2	◎	量子化学演習	1	
	◎	化学熱力学 II	2	○	無機分析化学演習	1	
	○	化学熱力学 III	2	○	有機化学演習	1	
	◎	量子化学 I	2	◎	化学実験 I	8	
	◎	量子化学 II	2	◎	化学実験 II	6	
	○	量子化学 III	2	◎	計算機化学実験	1	
	○	化学反応論	2	○	特別講義	その都度定める	
	○	表面化学	2	◎	特別研究	16	
	○	分子分光化学	2				
○	無機化学基礎	2					

備考 1 特別講義については, テーマが異なる場合には, 二科目以上履修することができる。

2 上記別表の共通専門基礎科目のうち, 次の両科目を重複して卒業必要単位とすることはできない。

「物理学 B 1」と「物理学 C 1」, 「物理学 B 2」と「物理学 C 3」,
「物理学 B 3」と「物理学 C 2」, 「物理学 B 3」と「物理学 C 4」

ホ 生物学科 (◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を, ●印は選択必修科目Ⅰ類を,
△印は選択必修科目Ⅱ類を, ☆印は選択必修科目Ⅲ類を示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位
共通専門基礎科目	○	線形代数学入門	2	専門科目	☆	分子遺伝学	2
	○	線形代数学1	2		☆	生体物理化学	2
	○	微分積分学入門	2		☆	情報分子構造論	2
	○	微分積分学1	2		☆	行動分子生理学	2
	○	物理学B 1	2		☆	植物分子発生学	2
	○	物理学B 2	2		☆	遺伝情報機能論	2
	○	物理学B 3	2		☆	神経生理学	2
	○	基礎無機化学	2		☆	神経行動学	2
	○	基礎有機化学	2		☆	植物形態学	2
	○	基礎地学	2		☆	細胞生物学	2
	○	地球物質学	2		☆	組織構築論	2
	○	基礎物理化学	2		☆	生物情報処理法	2
	○	地学実験	2		☆	生物情報学概論	2
	○	物理学実験	2		☆	細胞機能生理学	2
	○	化学実験	2		☆	発生生物学基礎	2
専門科目	◎	細胞生物学基礎	2	☆	化学概論Ⅰ	2	
	◎	生化学基礎	2	☆	化学概論Ⅱ	2	
	◎	進化系統学基礎	2	☆	生物学演習Ⅰ	2	
	◎	生態学基礎	2	☆	生物学演習Ⅱ	2	
	◎	発生遺伝学基礎	2	◎	生物学実験ⅠA	2	
	◎	分子生物学基礎	2	◎	生物学実験ⅠB	2	
	◎	動物生理学基礎	2	◎	生物学実験ⅡA	2	
	◎	植物生理学基礎	2	◎	生物学実験ⅡB	2	
	☆	海洋生物学	2	◎	生物学実験ⅡC	2	
	☆	形態形成論	2	◎	生物学実験ⅢA	2	
	☆	植物構造生理学	2	◎	生物学実験ⅢB	2	
	☆	生物システム論	2	◎	生物学実験ⅢC	2	
	☆	動物系統地理学	2	△	野外実習Ⅰ	1	
	☆	神経細胞生物学	2	△	野外実習Ⅱ	1	
	☆	進化生物学	2	△	臨海実習Ⅰ	1	
	☆	分子生物学	2	△	臨海実習Ⅱ	1	
	☆	細胞生化学	2	☆	公開臨海実習	1	
	☆	細胞内分子機構論	2	●	特別研究A	8	
	☆	環境解析学	2	●	特別研究B	8	
	☆	細胞構築論	2	☆	特別講義	その都度定める	
☆	細胞コミュニケーション	2					
☆	植物環境生理学	2					

- 備考1 特別講義については、テーマが異なる場合には、二科目以上履修することができる。
 2 公開臨海実習については、テーマが異なる二科目まで履修することができる。
 3 上記別表の共通専門基礎科目のうち、次の両科目を重複して卒業必要単位とすることはできない。
 「線形代数学入門」と「線形代数学1」, 「微分積分学入門」と「微分積分学1」

へ 地球惑星科学科

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位
共通専門基礎科目	○	微分積分学入門	2	専門科目	○	地球惑星科学基礎Ⅴ演習	1
	○	微分積分学Ⅰ	2		○	地球惑星物理学基礎Ⅰ	2
	○	微分積分学Ⅱ	2		○	地球惑星物理学基礎Ⅱ	2
	○	線形代数学入門	2		○	地球惑星物理学基礎Ⅲ	2
	○	線形代数学Ⅰ	2		○	地球惑星物質科学	2
	○	線形代数学Ⅱ	2		○	固体地球科学	2
	○	物理学BⅠ	2		○	地球惑星進化学	2
	○	物理学BⅡ	2		○	宇宙惑星科学	2
	○	物理学BⅢ	2		◎	地球惑星科学実験実習の基礎	3
	○	物理学CⅠ	2		○	地球惑星科学実習A	2
	○	物理学CⅡ	2		○	地球惑星科学実習B	2
	○	物理学CⅢ	2		○	地球惑星科学実習C	2
	○	物理学CⅣ	2		○	地球惑星科学実習D	2
	○	基礎物理化学	2		○	地球惑星科学実習E	2
	○	基礎無機化学	2		○	地質学Ⅰ	2
	○	基礎有機化学	2		○	地質学Ⅱ	2
	○	物理学実験	2		○	固体地球物理学Ⅰ	2
	○	化学実験	2		○	固体地球物理学Ⅱ	2
	○	生物学Ⅰ	2		○	生命情報基礎論	2
	専門科目	◎	地球惑星科学概論Ⅰ		2	○	惑星物質科学
◎		地球惑星科学概論Ⅱ	2	○	地球および惑星大気科学	2	
○		地球惑星科学基礎Ⅰ	2	○	惑星物理学	2	
○		地球惑星科学基礎Ⅰ演習	1	○	野外調査実習	その都度定める	
○		地球惑星科学基礎Ⅱ	2	○	海上観測実習	その都度定める	
○		地球惑星科学基礎Ⅱ演習	1	○	論文講究	2	
○		地球惑星科学基礎Ⅲ	2	○	特別研究	12	
○		地球惑星科学基礎Ⅲ演習	1	○	特別講義	その都度定める	
○		地球惑星科学基礎Ⅳ	2				
○		地球惑星科学基礎Ⅳ演習	1				
○	地球惑星科学基礎Ⅴ	2					

備考1 特別講義については、テーマが異なる場合には、二科目以上履修することができる。

2 上記別表の共通専門基礎科目のうち、次の両科目を重複して卒業必要単位とすることはできない。

「物理学BⅠ」と「物理学CⅠ」，「物理学BⅡ」と「物理学CⅢ」，

「物理学BⅢ」と「物理学CⅡ」，「物理学BⅢ」と「物理学CⅣ」

別表 第2

履修要件 (第5条関係)

イ 数 学 科

授業科目の区分等		授 業 科 目 等	必要修得単位数		備 考
教 養 原 論		全ての授業科目から選択		16	
外 国 語 科 目	外国語第 I	英語リーディング I	1	6	
		英語リーディング II	1		
		英語リーディング III	1		
		英語オーラル I	1		
		英語オーラル II	1		
		英語オーラル III	1		
	外国語第 II	独語 I A, 仏語 I A, 中国語 I A, ロシア語 I A	1	4~6	
		独語 I B, 仏語 I B, 中国語 I B, ロシア語 I B	1		
		独語 II A, 仏語 II A, 中国語 II A, ロシア語 II A	1		
		独語 II B, 仏語 II B, 中国語 II B, ロシア語 II B	1		
		独語 III A, 仏語 III A, 中国語 III A, ロシア語 III A	0~2		
		独語 III B, 仏語 III B, 中国語 III B, ロシア語 III B			
情 報 科 目	情報基礎	1	1又は3		
	情報科学	0又は2			
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習 I	1	1~4		
	健康・スポーツ科学実習 II	0~3			
	健康・スポーツ科学講義				
専 門 科 目	共通専門基礎科目	別表第1のロに掲げる授業科目	必修科目	8	89~96
	選択必修科目		6又は8		
	必修科目		14		
	選択必修科目		52~68		
	本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目		0~7		
合 計				124	

□ 物理学科

授業科目の区分等		授業科目等	必要修得単位数	備考	
教養原論		区分「物質と技術」の中の、「素粒子と宇宙」、「現代の物性科学」を除く授業科目	16		
外国語科目	外国語第Ⅰ	英語リーディングⅠ	1	6	
		英語リーディングⅡ	1		
		英語リーディングⅢ	1		
		英語オーラルⅠ	1		
		英語オーラルⅡ	1		
		英語オーラルⅢ	1		
	外国語第Ⅱ	独語ⅠA, 仏語ⅠA, 中国語ⅠA, ロシア語ⅠA	1	4~6	
		独語ⅠB, 仏語ⅠB, 中国語ⅠB, ロシア語ⅠB	1		
		独語ⅡA, 仏語ⅡA, 中国語ⅡA, ロシア語ⅡA	1		
		独語ⅡB, 仏語ⅡB, 中国語ⅡB, ロシア語ⅡB	1		
		独語ⅢA, 仏語ⅢA, 中国語ⅢA, ロシア語ⅢA	0~2		
独語ⅢB, 仏語ⅢB, 中国語ⅢB, ロシア語ⅢB					
情報科目	情報基礎	1	1又は3		
	情報科学	0又は2			
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1	1~4		
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	0~3			
	健康・スポーツ科学講義				
共通専門基礎科目	必修科目	10	12又は14		
	選択必修科目	2又は4			
	特別研究を除く必修科目	別表第1のハに掲げる授業科目	5	75~84	
	特別研究		8又は12		
	選択必修科目Ⅰ類		43~54		
	選択必修科目Ⅱ類		4~30		
	専門科目		本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び物理学科が認める他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目		0~9
合計			124		

ハ 化 学 科

授業科目の区分等		授 業 科 目 等		必要修得単位数	備 考	
教 養 原 論		区分「数理と情報」, 「物質と技術」, 「生命と環境」以外から14又は16単位を修得。 区分「数理と情報」, 「物質と技術」(ただし「分子の世界」「物質の成り立ち」を除く。)及び「生命と環境」から0又は2単位を修得。		16		
外国語科目	外国語第 I	英語リーディング I		1	6	
		英語リーディング II		1		
		英語リーディング III		1		
		英語オーラル I		1		
		英語オーラル II		1		
		英語オーラル III		1		
	外国語第 II	独語 I A, 仏語 I A, 中国語 I A, ロシア語 I A		1	4~6	独語, 仏語, 中国語及びロシア語のうちから1つ選択すること。
		独語 I B, 仏語 I B, 中国語 I B, ロシア語 I B		1		
		独語 II A, 仏語 II A, 中国語 II A, ロシア語 II A		1		
		独語 II B, 仏語 II B, 中国語 II B, ロシア語 II B		1		
		独語 III A, 仏語 III A, 中国語 III A, ロシア語 III A		0~2		
		独語 III B, 仏語 III B, 中国語 III B, ロシア語 III B				
情 報 科 目		情報基礎		1	1又は3	
		情報科学		0又は2		
健康・スポーツ科学		健康・スポーツ科学実習 I		1	1~4	
		健康・スポーツ科学実習 II		0~3		
		健康・スポーツ科学講義				
専 門 科 目	共通専門基礎科目	必修科目		2	89~96	早期卒業する者については, 特別研究16単位を別表第1の二に掲げる授業科目(共通専門基礎科目を除く。)選択必修科目(16単位)により修得したものとみなすことができる。
		選択必修科目		14又は16		
	必修科目		55			
	選択必修科目		9~25			
			本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び自然科学系で化学科が認める他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目			
合 計				124		

二 生物学科

授業科目の区分等		授 業 科 目 等	必要修得単位数		備 考
教 養 原 論		区分「生命と環境」の中の「生命の成り立ちと営み」, 「生物の多様性と進化」及び「生物の生態と自然環境」を除く授業科目		16	
外 国 語 科 目	外国語第 I	英語リーディング I	1	6	
		英語リーディング II	1		
		英語リーディング III	1		
		英語オーラル I	1		
		英語オーラル II	1		
		英語オーラル III	1		
	外国語第 II	独語 I A, 仏語 I A, 中国語 I A, ロシア語 I A	1	4~6	
		独語 I B, 仏語 I B, 中国語 I B, ロシア語 I B	1		
		独語 II A, 仏語 II A, 中国語 II A, ロシア語 II A	1		
		独語 II B, 仏語 II B, 中国語 II B, ロシア語 II B	1		
		独語 III A, 仏語 III A, 中国語 III A, ロシア語 III A	0~2		
		独語 III B, 仏語 III B, 中国語 III B, ロシア語 III B			
情 報 科 目	情報基礎	1	1又は3		
	情報科学	0又は2			
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習 I	1	1~4		
	健康・スポーツ科学実習 II	0~3			
	健康・スポーツ科学講義				
専 門 科 目	共通専門基礎科目	選択必修科目	16	89~96	早期卒業する者については、選択必修科目 I 類8単位を別表第1のホに掲げる授業科目(共通専門基礎科目を除く。)の選択必修科目 II 類及び III 類(8単位)により修得したものとみなすことができる。
		必修科目	32		
		選択必修科目 I 類	16又は8		
		選択必修科目 II 類	2~4		
		選択必修科目 III 類	24~30		
		本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び生物学科が認める他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目			
合 計			124		

ホ 地球惑星科学科

授業科目の区分等		授 業 科 目 等	必要修得単位数	備 考	
教 養 原 論		区分「物質と技術」の中の「惑星系の起源・進化・多様性」及び区分「生命と環境」の中の「地球と惑星」を除く授業科目	16		
外 国 語 科 目	外国語第 I	英語リーディング I	1	6	
		英語リーディング II	1		
		英語リーディング III	1		
		英語オーラル I	1		
		英語オーラル II	1		
		英語オーラル III	1		
	外国語第 II	独語 I A, 仏語 I A, 中国語 I A, ロシア語 I A	1	4~6	独語, 仏語, 中国語及びロシア語のうちから1つ選択すること。
		独語 I B, 仏語 I B, 中国語 I B, ロシア語 I B	1		
		独語 II A, 仏語 II A, 中国語 II A, ロシア語 II A	1		
		独語 II B, 仏語 II B, 中国語 II B, ロシア語 II B	1		
		独語 III A, 仏語 III A, 中国語 III A, ロシア語 III A	0~2		
独語 III B, 仏語 III B, 中国語 III B, ロシア語 III B					
情 報 科 目	情報基礎	1	3		
	情報科学	2			
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習 I	1	2~4		
	健康・スポーツ科学実習 II	1~3			
	健康・スポーツ科学講義				
専 門 科 目	共通専門基礎科目	別表第1のへに掲げる授業科目	選択必修科目	20	89~93
	必修科目		7		
	選択必修科目(実習4単位以上を含む。)		39~43		
	本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び地球惑星科学科が認める他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目		23		
合 計			124		

別表 第3

取得できる教員の免許状の種類及び免許教科(第23条関係)

学 科	教員免許状の種類	教 科 名
数 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数 学 数 学
物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地球惑星科学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

履修に関する内規

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成25年1月25日

理学部における授業科目の履修については、理学部規則に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(数学科)

1. 学部学科の如何にかかわらず専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 数学講究を履修しようとする者は、教養原論14単位以上、情報科目1単位以上、外国語科目10単位以上、健康・スポーツ科学1単位以上、数学科が指定する共通専門基礎科目14単位及び解析学序論Ⅰ・Ⅱ、数学通論を含む数学科が指定する専門科目32単位以上をそれぞれ修得していなければならない。

(物理学科)

1. 理学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 他学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は物理学科が認めるものに限り卒業必要単位として認める。
3. 特別研究A（実験系）または特別研究B（理論系）を履修するには原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。
 - イ. 外国語科目、健康・スポーツ科学、教養原論及び共通専門基礎科目にかかわる必修科目全ての単位。
 - ロ. 物理学科の専門科目（共通専門基礎科目を除く。）のうち、必修科目5単位および選択必修科目Ⅰ類から39単位を含む56単位以上。
 - ハ. 物理学実験Ⅱまたは物理学実験Ⅲの単位。
4. 選択必修科目Ⅰ類は基礎となる授業科目で、全て修得することが望ましい。選択必修科目Ⅱ類は専門性の高い授業科目である。

(化学科)

1. 理学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 他学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目中自然科学系で化学科の認める授業科目も前項の単位と同様に取扱う。
3. 特別研究を履修するには原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。
 - イ. 履修要件に定められた単位の内、教養原論、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学及び共通専門基礎科目にかかわる必要修得単位。
 - ロ. 専門科目（共通専門基礎科目を除く。）のうち、必修34単位を含む53単位以上。

(生物学科)

1. 理学部規則別表第2のニの共通専門基礎科目16単位には、原則として物理学実験、化学実験及び地学実験から2単位以上を含めなければならない。
2. 特別研究を履修しようとする者は原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。ただし、第3年次編入学者は生物学科が定める取扱いによる。なお、特別研究は原則として16単位を修得すること。
 - イ. 教養原論16単位、外国語科目10単位、情報科目1単位、健康・スポーツ科学1単位、共通専門基礎科目16単位。
 - ロ. 専門科目（共通専門基礎科目を除く）のうち、必修科目32単位、選択必修科目Ⅱ類から2単位を含む53単位以上。
3. 理学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
4. 他学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は生物学科が認める科目に限り卒業必要単位として認める。
5. 選択必修科目Ⅰ類は4年生対象の特別研究A・B、選択必修科目Ⅱ類は1～3年生対象の野外実習・臨海実習、選択必修科目Ⅲ類は専門性の高い授業科目である。なお、選択必修科目Ⅱ類は、野外実習Ⅰ、Ⅱから1単位以上（ただし、野外実習Ⅱの履修には、野外実習Ⅰの単位を修得済みであることが必要である。）、臨海実習Ⅰ、Ⅱから1単位以上を修得しなければならない。

(地球惑星科学科)

1. 理学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 他学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は地球惑星科学科が認めるものに限り卒業必要単位と認める。
3. 理学部規則別表第2のホで定める39～43単位には実習4単位以上を含めるものとする。

附 則

1. この内規は、平成24年4月1日から施行する。
2. この内規施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則

1. この内規は、平成25年4月1日から施行する。
2. この内規施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

履修科目の登録の上限を超えて登録できる者の基準

平成17年4月1日 制定
最近改正 平成23年1月21日

各学科とも次の要件を満たした場合は履修科目の登録の上限を超えて登録を認める。ここで履修登録とは卒業要件科目の履修登録のこととする。

- (1) 前年度に卒業要件科目を38単位以上取得していること（各学年次配当の必修科目はすべて含むこと）。
- (2) 前年度の履修登録科目の総単位数の80%以上が秀又は優であること。
- (3) 本人が申請し、学科の審査により了承を得ていること。
前年度の取得単位で評価し、毎年度審査を行う。

附 則

- 1 この基準は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この基準施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

履修方法等について

1. 履修方法等

「神戸大学全学共通授業科目履修規則」，「神戸大学理学部規則」及び「履修に関する内規」を十分熟読の上で，履修登録をしてください。

- (1) **全学共通授業科目について** 全学共通授業科目は，教養原論，外国語科目，情報科目，健康・スポーツ科学，共通専門基礎科目，資格免許のための科目及びその他必要と認める科目に分かれており，履修要件は理学部規則に定めています。
 - 1 教養原論は，1年次前期のみ指定された科目を履修，以後は教務情報システムによる抽選登録後，決定した科目を履修します。
 - 2 外国語科目は，外国語第Ⅰ（英語），外国語第Ⅱ（独語，仏語，中国語，ロシア語）からなり，外国語第Ⅱは一つの外国語を選択し履修します。
 - 3 履修登録前に事前に登録される科目（事前登録科目）がありますが，必ず教務情報システムにより登録された科目を確認してください。
 - 4 その他，履修についての注意，再履修の方法等は，共通教育関係の掲示・ホームページにより確認してください。
- (2) **授業科目の履修** 履修しようとする授業科目について，毎学期初めにパソコンから教務情報システムにより履修登録を行い，履修登録一覧（提出用）を理学部教務学生係に提出してください。登録期間終了後の変更は認めません。履修登録に際しては次の点に注意してください。
 - 1 履修登録の期日は毎学期初めに掲示・ホームページにより通知します。
期日を過ぎてからの登録は出来ません。
 - 2 履修登録を行っていない授業科目は履修及び試験を受けることはできません。
 - 3 同一時限内にある2つの授業科目を履修申請することはできません。
 - 4 履修登録上のエラーに関しては，理学部教務学生係まで問い合わせてください。
 - 5 臨海実習は本学の内海域環境教育研究センター（淡路島・岩屋）で行います。日程及び実習内容についてはその都度通知します。（別に他大学の臨海実験所で行われることもあります。）
- (3) **他学部授業科目の履修** 他学部の授業科目を履修することができます。他学部の授業科目を履修しようとする場合は，他学部学生の履修を制限している科目や，登録期間前に事前登録を行う（受講許可カードを提出するなど）場合があるので，各自で当該学部を確認してください。
- (4) **集中講義の履修** 本学部で開講する特別講義又は集中講義についても，履修登録期間内に登録しておいてください。開講日程については，その都度掲示等により通知します。

◎履修登録場所

情報基盤センターパソコン室，各研究室・自宅のパソコン等で登録できます。（ただし，ID・パスワードが必要です。）

2. 授業科目試験の留意事項

- (1) 授業科目試験は、その科目の授業の終了した学期末に行います。ただし、科目によっては随時に行われることがあります。また、レポートをもって試験に代えることもあります。
- (2) 履修登録を行い、履修した授業科目でなければ、試験を受けることはできません。
- (3) すでに、単位を修得した科目については、再試験を受けることはできません。
- (4) 不合格科目の単位を修得しようとするときは、次の学期以降にあらためて履修登録を行わなければ、試験を受けることができません。
- (5) 全学共通授業科目を再履修する場合は、担当教員の許可を得たうえで、受講許可カードの提出が必要な場合があります。共通教育関係の掲示に注意してください。
- (6) 理学部の授業科目について、事故等のため科目試験を受けることができなかつた者に対しては、別途に試験を行うことがあります。全学共通授業科目については、「追試験に関する内規」を参照してください。
- (7) 鶴甲第一キャンパスで開講している授業科目（専門科目を含む。）の試験はすべて鶴甲第一キャンパスで行いますので注意してください。
- (8) 試験の時間表、試験室の指定及び注意事項は、その都度掲示します。
- (9) 試験の成績は、次学期の開始前に発表します。確認は、各自教務情報システムにより行ってください。

3. 既修得単位の認定に関する取扱い

本学部規則第10条の規定により、既修得単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の指定の期日までに、学部長に願い出なければなりません。

4. 修業年限

学部の修業年限は4年。学生は修業年限の2倍を超えて在学することはできません。ただし、休学期間は除きます。

5. 卒業の要件

理学部を卒業するためには、理学部規則別表第2の履修要件に定める各学科所定の単位数を修得しなければなりません。

共通科目

授 業 科 目		単 位 数	毎週の授業時間数								備 考				
			1 学年		2 学年		3 学年		4 学年						
			前	後	前	後	前	後	前	後					
教 養 原 論	物質と技術	素粒子と宇宙	2											※教養原論の開講学期については、毎学期配布する時間割表で発表しますので注意してください。	
		現代の物性科学	2												
		分子の世界	2												
		物質の成り立ち	2												
		資源・材料とエネルギー	2												
		ものづくりと科学技術	2												
		惑星系の起源・進化・多様性	2												
	生命と環境	身体の成り立ちと働き	2												
		健康と病気	2												
		生命の成り立ちと営み	2												
		生物の多様性と進化	2												
		生物の生態と自然環境	2												
		生物資源と農業	2												
		食と健康	2												
	総合教養	地球と惑星	2												
		社会と人権	2												
		神戸大学の研究最前線	2												
		神戸大学史	2												
		社会科学のフロンティア	2												
		海への誘い	2												
		瀬戸内海学入門	2												
		国際協力の現状と課題	2												
		阪神・淡路大震災	2												
		環境学入門	2												
		E S D基礎(持続可能な社会づくり)	2												
		企業社会論	2												
		外国語科目	外国語第 I	英語リーディング I	1	2									
英語リーディング II	1				2										
英語リーディング III	1					2									
英語オーラル I	1			2											
英語オーラル II	1				2										
英語オーラル III	1					2									
英語アドバンスト A	1					2	2								
英語アドバンスト B	1					2	2								
外国語第 II	英語アドバンスト C		1			2	2								
	独語 I A		1	2											
	独語 I B		1	2											
	独語 II A		1		2										
	独語 II B		1		2										
	独語 III A		1			2									
	独語 III B		1				2								
	仏語 I A		1	2											
仏語 I B	1	2													
仏語 II A	1		2												
仏語 II B	1		2												
仏語 III A	1			2											
仏語 III B	1				2										

共通科目

授 業 科 目			単 位 数	毎週の授業時間数								備 考	
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
外国語科目	外国語第Ⅱ	中国語ⅠA	1	2									
		中国語ⅠB	1	2									
		中国語ⅡA	1		2								
		中国語ⅡB	1		2								
		中国語ⅢA	1			2							
		中国語ⅢB	1				2						
		ロシア語ⅠA	1	2									
		ロシア語ⅠB	1	2									
		ロシア語ⅡA	1		2								
		ロシア語ⅡB	1		2								
		ロシア語ⅢA	1			2							
		ロシア語ⅢB	1				2						
情報科目	情報基礎	1	2										
	情報科学	2		2									
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	2		2									
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1	2										
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1		2									
資格免許のための科目	日本国憲法	2				2							
	数学科教育論A	2			2							発達科学部開講	
	数学科教育論B	2				2						発達科学部開講	
	数学科教育論C	2											
	数学科教育論D	2											
	理科教育論A	2			2							隔年開講	
	理科教育論B	2			2							隔年開講	
	理科教育論C	2											
	理科教育論D	2											
	物理学実験	2			4								
	化学実験	2				4							
	生物学実験	2				4							
	地学実験	2		4									
	教職実践演習（中・高）	2								60		集中	
	事前事後指導	1								(30)		集中	
	中学校教育実習Ⅰ	2								(60)		集中	
	中学校教育実習Ⅱ	4								(120)		集中	
	高等学校教育実習	2								(60)		集中	
	博物館資料保存論	2								(30)		集中	
博物館実習	3								(90)		集中		
その他必要と認める科目	総合科目Ⅰ											その都度	
	総合科目Ⅱ											定める	

数学科 (◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授 業 科 目	単位数	毎週の授業時間数								備 考	
				1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
共通 専門 基礎 科目	◎	微分積分学 1	2	2									
	◎	微分積分学 2	2		2								
	◎	線形代数学 1	2	2									
	◎	線形代数学 2	2		2								
	○	物理学 C 1	2	2									
	○	物理学 C 2	2		2								
	○	物理学 C 3	2		2								
	○	物理学 C 4	2			2							
	○	基礎無機化学	2	2									
○	生物学 I	2	2										
専 門 科 目	◎	解析学序論 I	2	2									
	◎	解析学序論 II	2		2								
	◎	数学通論	2	2									
	○	数学演義	2		2								
	○	数学要論 I	2		2								
	○	数学要論 II・同演習	3			4							
	○	線形代数学 III	2			2							
	○	解析学 III	2			2							
	○	解析学 IV	2			2							
	○	解析学 V	2				2						
	○	解析学 VI・同演習	3					4					
	○	解析学 VII	2						2				
	○	解析学 VIII	2							2			
	○	関数論・同演習	3				4						
	○	複素解析	2					2					
	○	関数方程式論 I	2								2		
	○	関数方程式論 II	2									2	
	○	関数解析学 I	2								2		
	○	関数解析学 II	2									2	
	○	代数学 I・同演習	3			4							
○	代数学 II	2				2							
○	代数学 III・同演習	3						4					
○	代数学 IV	2							2				
○	代数学 V	2											

数学科

授業科目の区分	必修・ 選択必修の別	授 業 科 目	単 位 数	毎週の授業時間数								備 考		
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	○	代数学Ⅵ	2											集中 集中 集中 集中 集中 集中 その都度定める
	○	幾何学Ⅰ・同演習	3				4							
	○	幾何学Ⅱ・同演習	3					4						
	○	幾何学Ⅲ	2						2					
	○	幾何学Ⅳ	2						2					
	○	幾何学Ⅴ	2											
	○	幾何学Ⅵ	2											
	○	確率論Ⅰ	2						2					
	○	確率論Ⅱ	2									2		
	○	離散数学Ⅰ	2											
	○	離散数学Ⅱ	2											
	○	計算数学Ⅰ・同演習	3						4					
	○	計算数学Ⅱ	2							2				
	○	計算数学Ⅲ	2											
	○	表現論Ⅰ	2						2					
	○	表現論Ⅱ	2									2		
	○	応用解析学	2											
	○	解析学特論	2											
	○	代数学特論	2											
	○	幾何学特論	2											
○	数学特論	2												
○	応用数学特論	2												
○	特別講義													
◎	数学講究	8								4	4			

物理学科

(◎印は必修科目を，○印は選択必修科目を，●印は選択必修科目Ⅰ類を，
△印は選択必修科目Ⅱ類を，◇印は特別研究A（実験系）又は特別研究B
（理論系）のうちいずれかが必修科目であることを示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考	
				1学年		2学年		3学年		4学年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
共通専門基礎科目	◎	微分積分学1	2	2									
	◎	微分積分学2	2		2								
	◎	線形代数学1	2	2									
	◎	線形代数学2	2		2								
	○	基礎無機化学	2	2									
	○	基礎有機化学	2	2									
	○	基礎物理化学	2		2								
	◎	物理学実験	2			4							
	○	生物学Ⅰ	2	2									
	○	基礎地学	2	2									
	○	地球物質学	2			2							
専門科目	●	力学Ⅰ	2	2									
	●	力学Ⅱ	2		2								
	△	解析力学	2			2							
	●	力学Ⅰ演習	2	4									
	●	力学Ⅱ演習	2		4								
	◎	現代物理学	2	2									
	●	波動物理学	2			2							
	●	電磁気学Ⅰ	2		2								
	●	電磁気学Ⅱ	2			2							
	△	電磁力学	2							2			
	●	電磁気学Ⅰ演習	2		4								
	●	電磁気学Ⅱ演習	2			4							
	●	熱統計物理学	2			2							
	●	統計物理学Ⅰ	2				2						
	●	統計物理学Ⅱ	2					2					
	●	統計物理学Ⅰ演習	2				4						
	●	統計物理学Ⅱ演習	2					4					
	△	解析学Ⅲ	2			2							
	●	物理数学基礎	2	2									
	●	物理数学Ⅰ	2			2							
●	物理数学Ⅱ	2				2							
●	物理数学Ⅰ演習	2			4								
●	物理数学Ⅱ演習	2				4							
●	量子力学Ⅰ	2				2							
●	量子力学Ⅱ	2					2						

物理学科

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考	
				1学年		2学年		3学年		4学年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 科 目	△	量子力学Ⅲ	2							2			
	●	量子力学Ⅰ演習	2					4					
	●	量子力学Ⅱ演習	2						4				
	△	物理学情報処理演習	2			4							
	△	相対性理論	2				2						
	△	宇宙物理学	2						2		2		隔年開講
	△	一般相対性理論	2						2		2		隔年開講
	△	物性物理学Ⅰ	2						2				
	△	物性物理学Ⅱ	2							2			
	△	原子核物理学	2						2		2		隔年開講
	△	素粒子物理学	2							2			
	●	物理実験学	2			2							
	◎	物理学実験Ⅰ	3				6						
	●	物理学実験Ⅱ	3					6					
	●	物理学実験Ⅲ	3						6				
	△	特別講義											※その都度定める
	◇	特別研究A（実験系）	12									←12→	
	◇	特別研究B（理論系）	8									←8→	

化学科

(◎印は必修科目を，○印は選択必修科目を示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考		
				1学年		2学年		3学年		4学年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
共通専門基礎科目	○	微分積分学1	2	2										
	○	微分積分学2	2		2									
	○	線形代数学1	2	2										
	○	線形代数学2	2		2									
	○	物理学B1	2	2										
	○	物理学B2	2		2									
	○	物理学B3	2			2								
	○	物理学C1	2	2										
	○	物理学C2	2		2									
	○	物理学C3	2		2									
	○	物理学C4	2			2								
	○	生物学I	2	2										
	○	基礎地学	2	2										
	○	物理学実験	2			4								
	◎	化学実験	2				4							
○	生物学実験	2				4								
専門科目	○	物理化学基礎	2	2										
	◎	化学熱力学I	2		2									
	◎	化学熱力学II	2			2								
	○	化学熱力学III	2				2							
	◎	量子化学I	2			2								
	◎	量子化学II	2				2							
	○	量子化学III	2					2						
	○	化学反応論	2					2						
	○	表面化学	2							2				
	○	分子分光光学	2							2				
	○	無機化学基礎	2	2										
	◎	無機化学I	2		2									
	◎	無機化学II	2			2								
	○	無機化学III	2				2							
	◎	分析化学I	2				2							
	○	分析化学II	2					2						
	○	固体化学	2						2					
○	溶液化学	2							2					
○	有機化学基礎	2	2											

生物学科

(◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を, ●印は選択必修科目Ⅰ類を,
△印は選択必修科目Ⅱ類を, ☆印は選択必修科目Ⅲ類を示す。)

授業科目の区分	必修・ 選択必修の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考			
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
共通 専門 基礎 科目	○	線形代数学入門	2	2											
	○	線形代数学 1	2	2											
	○	微分積分学入門	2	2											
	○	微分積分学 1	2	2											
	○	物理学 B 1	2	2											
	○	物理学 B 2	2		2										
	○	物理学 B 3	2			2									
	○	基礎無機化学	2	2											
	○	基礎有機化学	2	2											
	○	基礎地学	2	2											
	○	地球物質学	2			2									
	○	基礎物理化学	2		2										
	○	地学実験	2	4											
	○	物理学実験	2			4									
	○	化学実験	2				4								
専門 科目	◎	細胞生物学基礎	2	2											
	◎	生化学基礎	2		2										
	◎	進化系統学基礎	2		2										
	◎	生態学基礎	2	2											
	◎	発生遺伝学基礎	2			2									
	◎	分子生物学基礎	2			2									
	◎	動物生理学基礎	2			2									
	◎	植物生理学基礎	2		2										
	☆	海洋生物学	2				2								
	☆	形態形成論	2				2								
	☆	植物構造生理学	2				2								
	☆	生物システム論	2				2								
	☆	動物系統地理学	2				2								※
	☆	神経細胞生物学	2						2						
	☆	進化生物学	2						2						※
	☆	分子生物学	2						2						
	☆	細胞生化学	2							2					
	☆	細胞内分子機構論	2						2						※
	☆	環境解析学	2							2					
	☆	細胞構築論	2						2						
☆	細胞コミュニケーション	2						2						※	
☆	植物環境生理学	2						2							
☆	分子遺伝学	2							2						

生物学科

授業科目の区分	必修・選択必修の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	☆	生体物理化学	2						2			※
	☆	情報分子構造論	2					2				※
	☆	行動分子生理学	2						2			※
	☆	植物分子発生学	2					2				※
	☆	遺伝情報機能論	2						2			※
	☆	神経生理学	2					2				
	☆	神経行動学	2						2			
	☆	植物形態学	2									※
	☆	細胞生物学	2									※
	☆	組織構築論	2									※
	☆	生物情報処理法	2									※
	☆	生物情報学概論	2									※
	☆	細胞機能生理学	2									※
	☆	発生生物学基礎	2									※
	☆	化学概論 I	2									※
	☆	化学概論 II	2									※
	☆	生物学演習 I	2					4				
	☆	生物学演習 II	2						4			
	◎	生物学実験 I A	2			4						
	◎	生物学実験 I B	2				4					
	◎	生物学実験 II A	2					4				
	◎	生物学実験 II B	2					4				
	◎	生物学実験 II C	2					4				
	◎	生物学実験 III A	2						4			
	◎	生物学実験 III B	2						4			
	◎	生物学実験 III C	2						4			
	△	野外実習 I	1		(30)							集中
	△	野外実習 II	1					(30)				集中
	△	臨海実習 I	1		(30)							集中
	△	臨海実習 II	1			(30)						集中
	☆	公開臨海実習	1									
	●	特別研究 A	8							16		
●	特別研究 B	8								16		
☆	特別講義										その都度定める	

備考の※印は、今年度開講しない科目を示す。

地球惑星科学科 (◎印は必修科目を, ○印は選択必修科目を示す。)

授業科目の区分	選択必修科目 (○印)	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考		
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
共通専門基礎科目	○	微分積分学入門	2	2										
	○	微分積分学 1	2	2										
	○	微分積分学 2	2		2									
	○	線形代数学入門	2	2										
	○	線形代数学 1	2	2										
	○	線形代数学 2	2		2									
	○	物理学 B 1	2	2										
	○	物理学 B 2	2		2									
	○	物理学 B 3	2			2								
	○	物理学 C 1	2	2										
	○	物理学 C 2	2		2									
	○	物理学 C 3	2		2									
	○	物理学 C 4	2			2								
	○	基礎物理化学	2		2									
	○	基礎無機化学	2	2										
	○	基礎有機化学	2	2										
	○	物理学実験	2			4								
	○	化学実験	2				4							
	○	生物学 I	2	2										
	専門科目	◎	地球惑星科学概論 I	2	2									
◎		地球惑星科学概論 II	2		2									
○		地球惑星科学基礎 I	2	2										
○		地球惑星科学基礎 I 演習	1	2										
○		地球惑星科学基礎 II	2		2									
○		地球惑星科学基礎 II 演習	1		2									
○		地球惑星科学基礎 III	2			2								
○		地球惑星科学基礎 III 演習	1			2								
○		地球惑星科学基礎 IV	2			2								
○		地球惑星科学基礎 IV 演習	1			2								
○		地球惑星科学基礎 V	2				2							
○		地球惑星科学基礎 V 演習	1					2						
○		地球惑星物理学基礎 I	2			2								
○		地球惑星物理学基礎 II	2				2							
○		地球惑星物理学基礎 III	2					2						
○		地球惑星物質科学	2			2								
○		固体地球科学	2			2								
○		地球惑星進化学	2					2						

地球惑星科学科

授業科目の区分	選択必修科目 (○印)	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考	
				1学年		2学年		3学年		4学年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門科目	○	宇宙惑星科学	2					2					集中を含む
	◎	地球惑星科学実験実習の基礎	3				4(30)						
	○	地球惑星科学実習A	2					4					
	○	地球惑星科学実習B	2					4					
	○	地球惑星科学実習C	2					4					
	○	地球惑星科学実習D	2						4				
	○	地球惑星科学実習E	2						4				
	○	地質学Ⅰ	2					2					
	○	地質学Ⅱ	2						2				
	○	固体地球物理学Ⅰ	2					2					
	○	固体地球物理学Ⅱ	2						2				
	○	生命情報基礎論	2						2				
	○	惑星物質科学	2					2					
	○	地球および惑星大気科学	2						2				
	○	惑星物理学	2						2				
	○	野外調査実習											
○	海上観測実習											その都度定める，集中	
○	論文講究	2								←2→			
○	特別研究	12								←12→			
○	特別講義											その都度定める，集中	

成績評価基準

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成23年1月21日

理学部の各授業科目の成績評価は以下のように行う。

- 各担当教員は、
 - ・ 期末試験の成績
 - ・ 小テスト評価
 - ・ 中間テスト評価
 - ・ 平常点（宿題・レポート・質疑応答内容・提案・発言等）
 - ・ 授業の出席点等を用いて総合的に評価する。
- 評価基準は下表のとおりとする。

評価	評点	合否
秀	90～100	合格
優	80～89	
良	70～79	
可	60～69	
不可	0～59	不合格

- この基準は、平成23年4月1日から施行する。
- この基準施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

授業科目の試験における不正行為に関する申合せ

平成19年5月25日 制定

授業科目の試験において不正行為若しくはその誤解を招く行為は厳に慎むこと。不正行為が判明した場合は、その期の履修科目（継続科目を含む。）の全ての成績を無効とする。

早期卒業の認定基準

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成23年1月19日

本学に3年以上在学し、各学科において次の要件を満たした者については早期に卒業を認定する。

(数 学 科)

以下の条件を満たす場合は3年後期において早期卒業生向けに開講される数学講究(8単位)を履修することができる。

- (1) 2年次および3年次において履修登録制限をされていないこと。
- (2) 3年前期までの修得単位が数学講究の履修基準を満たしていること。
- (3) 3年後期の履修により卒業要件を充足する可能性があること。
- (4) 本人が早期卒業を望んでいること。

当該学期末に卒業要件を充足し、各学年における修得単位数の80%以上がそれぞれ秀又は優である場合は修業年限に満たない場合であっても卒業することができる。

また、2年次において履修登録制限を受けない者は3年次向けの授業科目も履修できる。3年次において履修登録制限を受けない者は4年次向けの授業科目(数学講究を除く)も履修できる。

(物理学科)

- (1) 卒業要件科目の80%以上の科目が秀又は優の成績であること。
- (2) 本人が早期卒業を希望(入学1年後又は2年後に早期卒業希望調書を提出し、受理されていること)していること。

(化 学 科)

- (1) 卒業要件科目の80%以上の科目が秀又は優の成績であること。
- (2) 本人が早期卒業を希望(入学1年後又は2年後に早期卒業希望調書を提出し、受理されていること)していること。

(生物学科)

- (1) 卒業要件科目の80%以上の科目が秀又は優の成績であること。
- (2) 本人が早期卒業を希望(入学1年後又は2年後に早期卒業希望調書を提出し、受理されていること)していること。

(地球惑星科学科)

- (1) 卒業要件科目の80%以上の科目が秀又は優の成績であること。
- (2) 本人が早期卒業を希望(入学1年後又は2年後に早期卒業希望調書を提出し、受理されていること)していること。

附 則

- 1 この基準は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この基準施行の際現に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成23年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

既修得単位の認定に関する内規

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成19年4月1日

この内規は、神戸大学教学規則（平成16年4月1日制定）第36条第1項並びに神戸大学理学部規則（平成16年4月1日制定。以下「規則」という。）第10条の規定に基づき、既修得単位の認定に関し必要な事項を定める。ただし、第3年次編入学者については除く。

- 1 既修得単位の認定の申請資格は、次のとおりとする。
 - (1) 大学又は短期大学を卒業した者
 - (2) 学士の学位を得るのに必要な所定の単位のうち32単位を修得し、大学を退学した者
- 2 認定できる授業科目区分ごとの認定単位数の最高限度は、次のとおりとする。
 - (1) 教養原論 16単位
 - (2) 外国語 外国語第Ⅰ 6単位
外国語第Ⅱ 4単位
 - (3) 情報科目 1単位
 - (4) 健康・スポーツ科学 1単位
 - (5) 専門科目（共通専門基礎科目を含む） 32単位（本学において修得した単位についてはこの限りではない。）
- 3 既修得単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の指定の期日までに、次の書類を学部長に提出しなければならない。
 - (1) 申請書（本学部所定の様式）
申請授業科目は、本学において修得した単位以外のものについては、60単位を超えないものとする。
 - (2) 卒業証明書又は在籍期間証明書
 - (3) 成績証明書及び講義内容を明示できるもの（講義要項等）
- 4 認定試験は、申請をした授業科目ごとに試験（筆記又は口頭）を行う。
- 5 認定された授業科目の単位数については、規則第10条第3項に基づき必要修得単位数に算入することができる。なお、成績の表示は、「認定」とする。

途中の附則（略）

附 則

この内規は平成19年4月1日から施行する。

外国人留学生のための日本語等授業科目の 単位の取扱いに関する申合せ

平成17年5月20日理学部教授会決定

1. 神戸大学日本語等授業科目履修規則（平成16年4月1日制定）別表に掲げる次の授業科目の単位を修得したときは、これらの単位数を6単位を限度として、外国語科目の必要修得単位数に算入することができる。

日本語Ⅰ（1単位）、日本語Ⅱ（1単位）、日本語Ⅲ（1単位）、
日本語Ⅳ（1単位）、日本語Ⅴ（1単位）、日本語Ⅵ（1単位）、
日本語Ⅶ（1単位）、日本語Ⅷ（1単位）、日本事情Ⅰ（1単位）、
日本事情Ⅱ（1単位）

2. 当人の既修の言語、所属学科等を考慮して上記1.の単位数を制約することもある。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から施行する。

交通機関の運休、台風等の場合における 授業、学期末試験の取扱いについて

平成16年4月1日 制定

平成22年9月10日 改正

1. 交通機関の運休の場合

次の(1)又は(2)に該当する場合、当日のその後に開始する授業（学期末試験を含む。）を休講とする。

- (1) JR西日本がストライキ等のため運休した場合
- (2) 阪急電鉄および阪神電鉄がストライキ等のため同時に運休した場合。

ただし、次の場合は授業を実施する。

- ① 午前6時までに、交通機関が運行した場合は、1時限目の授業から実施する。
- ② 午前10時までに、交通機関が運行した場合は、3時限目（午後）の授業から実施する。

2. 台風等の場合

神戸市に気象警報（暴風・大雪・暴風雪）が発令された場合、当日のその後に開始する授業（学期末試験を含む。）を休講とする。

なお、上記の気象警報が広域に発令された場合は、発令地域に神戸市が含まれている場合にこの取扱いを適用する。

ただし、次の場合は授業を実施する。

- (1) 午前6時までに、上記の気象警報が解除された場合は、1時限目の授業から実施する。
- (2) 午前10時までに、上記の気象警報が解除された場合は、3時限目（午後）の授業から実施する。

(注)

- 1 気象警報（暴風・大雪・暴風雪）は、「神戸海洋気象台が発表する警報」によるものとする。
- 2 解除又は運行の確認は、テレビ・ラジオ等の報道による。
- 3 この取扱いは平成22年10月1日から適用する。

転学部・転学科について

本学部生並びに他学部生で、転学部・転学科を希望する者は、下記により取扱うので事前に理学研究科教務学生係へ申し出ること。

記

平成16年4月1日 決定

本学部生並びに他学部生で、転学部・転学科（以下、「転学部等」という。）を願い出てきた場合、次の基準により選考の上、本学部教授会の議を経て許可することがある。

ただし、第3年次編入学試験合格者はこの対象としない。

1. 転学部等を志望する者の所属学部・学科と受入れ学科の意見が一致したとき。
2. 当該学科が受入れ可能人数に余裕があると判断したとき。
3. 当該学科が志望者について受入後の履修に十分な学力があると判断したとき。

なお、学力の判定については、入学試験の成績、入学後の成績、面接又は筆記による試験の成績等を総合的に勘案して行うものとする。

申請時期 12月1日～12月15日

適用時期 平成16年4月1日から適用する。

神戸大学理学部科目等履修生規程

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成24年10月23日

(趣 旨)

第1条 この規程は、神戸大学理学部規則（平成16年4月1日制定）第20条の規定に基づき、神戸大学理学部の科目等履修生に関する事項を定めるものとする。

(入学資格)

第2条 科目等履修生として入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 神戸大学理学部教授会（以下「教授会」という。）において、前号に掲げる者と同等以上の学力があると認められた者

(出願手続)

第3条 科目等履修生として入学を志願する者は、所定の期日までに、検定料を納付した上、次の各号に掲げる書類を神戸大学理学部長（以下「学部長」という。）に提出しなければならない。

- (1) 科目等履修生願書（所定の用紙）
 - (2) 履歴書（所定の用紙）及び写真
 - (3) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
 - (4) 振替払込受付証明書（所定の用紙）
 - (5) その他本学部において必要と認める書類
- 2 会社等（官公庁を含む。）に在職している者にあつては、前項各号に掲げる書類のほか、在職のまま入学することについての所属長の承諾書を提出しなければならない。
- 3 日本に居住している外国人にあつては、第1項各号及び前項に掲げる書類のほか、住民票の写し（提出日前30日以内に作成されたものに限る。）又はこれに代わる書類を提出しなければならない。

(選考方法)

第4条 入学志願者に対する選考は、書類審査及び面接により行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、教授会が認めたときは、面接を省略することができる。

(入学手続)

第5条 選考に合格した者は、所定の期日までに、所定の書類を学部長に提出するとともに入学料を納付しなければならない。

(授業料)

第6条 科目等履修生は、所定の期日までに授業料を納付しなければならない。

(履修期間)

第7条 履修期間は、履修を許可された授業科目の開講期間とし、1年以内とする。ただし、特別の理由により、履修の継続を願い出た者については、教授会の議を経て、1年を限度として履修期間の延長を許可することがある。

(履修科目)

第8条 履修することのできる授業科目は、1学期5科目以内とする。

2 実験、実習及び集中講義については原則として履修を許可しない。

(試験)

第9条 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受けることができる。

(単位修得証明書の交付)

第10条 科目等履修生に対しては、前条の試験に合格した授業科目について、単位修得証明書を交付する。

(退学)

第11条 科目等履修生が退学しようとするときは、学部長に願い出て許可を受けなければならない。

(除籍)

第12条 科目等履修生が次の各号のいずれかに該当するときは、教授会の議を経て、学部長がこれを除籍する。

(1) 科目等履修生として不都合な行為があったとき。

(2) 授業料納付の義務を怠ったとき。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、教授会が定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年10月23日から施行し、改正後の神戸大学理学部科目等履修生規程の規定は、平成24年7月9日から適用する。

神戸大学理学部聴講生規程

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成24年10月23日

(趣 旨)

第1条 この規程は、神戸大学理学部規則(平成16年4月1日制定)第21条の規定に基づき、神戸大学理学部の聴講生に関する事項を定めるものとする。

(入学資格)

第2条 聴講生として入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 神戸大学理学部教授会(以下「教授会」という。)において、前号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

(出願手続)

第3条 聴講生として入学を志願する者は、所定の期日までに、検定料を納付した上、次の各号に掲げる書類を神戸大学理学部長(以下「学部長」という。)に提出しなければならない。

- (1) 聴講生願書(所定の用紙)
 - (2) 履歴書(所定の用紙)及び写真
 - (3) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
 - (4) 振替払込受付証明書(所定の用紙)
 - (5) その他本学部において必要と認める書類
- 2 会社等(官公庁を含む。)に在職している者にあつては、前項各号に掲げる書類のほか、在職のまま入学することについての所属長の承諾書を提出しなければならない。
- 3 日本に居住している外国人にあつては、第1項各号及び前項に掲げる書類のほか、住民票の写し(提出日前30日以内に作成されたものに限る。)又はこれに代わる書類を提出しなければならない。

(選考方法)

第4条 入学志願者に対する選考は、書類審査及び面接により行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、教授会が認めたときは、面接を省略することができる。

(入学手続)

第5条 選考に合格した者は、所定の期日までに、所定の書類を学部長に提出するとともに入学料を納付しなければならない。

(授業料)

第6条 聴講生は、所定の期日までに授業料を納付しなければならない。

(聴講期間)

第7条 聴講期間は、聴講を許可された授業科目の開講期間とし、1年以内とする。ただし、特別の理由により、聴講の継続を願い出た者については、教授会の議を経て、1年を限度として聴講期間の延長を許可することがある。

(聴講科目)

第8条 聴講することのできる授業科目は、1学期5科目以内とする。

2 実験、実習及び集中講義については原則として聴講を許可しない。

(試 験)

第9条 聴講生は、聴講した授業科目について試験を受けることができる。

(聴講証明書の交付)

第10条 聴講した授業科目について証明を願い出た者には、聴講証明書を交付する。

(退 学)

第11条 聴講生が退学しようとするときは、学部長に願い出て許可を受けなければならない。

(除 籍)

第12条 聴講生が次の各号のいずれかに該当するときは、教授会の議を経て、学部長がこれを除籍する。

(1) 聴講生として不都合な行為があったとき。

(2) 授業料納付の義務を怠ったとき。

(雑 則)

第13条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、教授会が定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年10月23日から施行し、改正後の神戸大学理学部聴講生規程の規定は、平成24年7月9日から適用する。

神戸大学理学部研究生規程

平成16年4月1日制定
最近改正 平成24年10月23日

(趣 旨)

第1条 この規程は、神戸大学理学部規則（平成16年4月1日制定）第22条の規定に基づき、神戸大学理学部の研究生に関する事項を定めるものとする。

(入学資格)

第2条 研究生として入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学に2年以上在学した者
- (2) 神戸大学理学部教授会（以下「教授会」という。）教授会において、前号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

(出願手続)

第3条 研究生として入学を志願する者は、所定の期日までに、検定料を納付した上、次の各号に掲げる書類を神戸大学理学部長（以下「学部長」という。）学部長に提出しなければならない。

- (1) 研究生願書（所定の用紙）
 - (2) 履歴書（所定の用紙）及び写真
 - (3) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
 - (4) 振替払込受付証明書（所定の用紙）
 - (5) その他本学部において必要と認める書類
- 2 会社等（官公庁を含む。）に在職している者にあつては、前項各号に掲げる書類のほか、在職のまま入学することについての所属長の承諾書を提出しなければならない。
- 3 日本に居住している外国人にあつては、第1項各号及び前項に掲げる書類のほか、住民票の写し（提出日前30日以内に作成されたものに限る。）又はこれに代わる書類を提出しなければならない。

(選考方法)

第4条 入学志願者に対する選考は、書類審査及び面接により行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、教授会が認めたときは、面接を省略することができる。

(入学手続)

第5条 選考に合格した者は、所定の期日までに、所定の書類を学部長に提出するとともに入学料を納付しなければならない。

(授業料)

第6条 研究生は、所定の期日までに授業料を納付しなければならない。

(入学時期)

第7条 入学の時期は、4月1日及び10月1日とする。ただし、教授会が特別の理由があると認めたときは、この限りでない。

(研究期間)

第8条 研究期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由により引き続き研究を願い出た者につ

いては、教授会の議を経て、1年を限度として研究期間の延長を許可することがある。

(研 究)

第9条 研究生は、教授会の定める指導教員の下で研究を行うものとする。

(授業科目の聴講)

第10条 研究生は、指導教員及び授業担当教員の承認を得て、研究に関連のある授業科目を聴講することができる。

(研究証明書の交付)

第11条 研究事項について、証明を願い出た者には、研究証明書を交付する。

(退 学)

第12条 研究生が退学しようとするときは、学部長に願い出て許可を受けなければならない。

(除 籍)

第13条 研究生が次の各号のいずれかに該当するときは、教授会の議を経て、学部長がこれを除籍する。

- (1) 疾病その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者
- (2) 研究生として不都合な行為があったとき。
- (3) 授業料納付の義務を怠ったとき。

(雑 則)

第14条 この規程に定めるもののほか、この規定の実施に関し必要な事項は、教授会が定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年10月23日から施行し、改正後の神戸大学理学部研究生規程の規定は、平成24年7月9日から適用する。

神戸大学理学部外国人特別学生入学選考規程

平成16年4月1日 制定
最近改正 平成24年10月23日

(趣 旨)

第1条 この規程は、神戸大学教学規則（平成16年4月1日制定）第83条に規定する外国人特別学生として、神戸大学理学部（以下「本学部」という。）に入学を志願する者の選考について定めるものとする。

(入学資格)

第2条 外国人特別学生として入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
- (2) 本学部において、前号と同等以上の学力があると認められた者

(出願手続)

第3条 外国人特別学生として入学を志願する者は、所定の期日までに、検定料を納付した上、次の各号に掲げる書類を神戸大学理学部長に提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 在学若しくは出身学校長が作成した調査書又は学業成績証明書及び卒業証明書
- (3) 修学に差し支えない程度に日本語を修得していることの証明書
- (4) 振替払込受付証明書（所定の用紙）
- (5) 日本に居住している者は、住民票の写し（提出日前30日以内に作成されたものに限る。）
又はこれに代わる書類

(選考方法)

第4条 入学志願者に対する選考は、次の各号に定める事項を総合勘案して行う。

- (1) 学力試験及び面接
 - (2) 日本語修得の程度
 - (3) 在学若しくは出身学校長が作成した調査書又は学業成績証明書
- 2 国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文部大臣裁定）第3条により選定された者については、学力試験を免除することがある。

(入学時期)

第5条 入学の時期は、学年の初めとする。

(雑 則)

第6条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、神戸大学理学部教授会が定める。

（途中の附則省略）

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年10月23日から施行し、改正後の神戸大学理学部外国人特別学生入学選考規程の規定は、平成24年7月9日から適用する。

理学部担当教員一覧

2013.4現在

学科	大分野	教育研究分野	主 要 内 容	教 員			
				教 授	准教授	講 師	助 教
数	解析数理	関数方程式	微分方程式・差分方程式で定義される線形系・非線形系の研究	野海 正俊	小池 達也		
		関数解析	フーリエ解析, 数理論物理に現れる偏微分方程式のスペクトルと散乱理論	福山 克司 足立 匡義			
		複素解析	複素関数論, 特殊関数論及び関連する微分方程式	山田 泰彦			
	構造数理	代数学	整数論, 代数幾何	齋藤 政彦 吉岡 康太		谷口 隆	
		幾何学	微分幾何, 結び目及び絡み目	中西 康剛 ラスマン・ウェイン	佐藤 進 佐治健太郎		
	学	応用数理	確率数理	確率論	樋口 保成		
組み合わせ数理			組み合わせの数理, 整数論		渡邊 清		
計算数理			数理論理学に現れる計算方法, その計算機上での効率的実装と計算代数システムの開発	高山 信毅 野呂 正行 太田 泰広			
物	理論物理学	素粒子理論	素粒子の理論的研究, 場の量子論		園田 英徳		坂本 真人
		物性理論	物性(特に磁性体, 固体構造, 高温超伝導)の理論的研究		久保木 一浩 西野 友年		
		量子物性論	強相関電子系を中心とした固体の電子状態に関する理論的研究	播磨 尚朝			
	粒子物理学	粒子物理学	高エネルギー物理学の実験的研究, 加速器及び宇宙線を用いた素粒子の実験的研究	武田 廣 藏重 久弥 竹内 康雄	原 俊雄 山崎 祐司 身内賢太郎		鈴木 州 越智 敦彦
		物性物理学	極限物性物理学	極低温, 強磁場における固体の磁気的, 電気的, 光学的性質に関する実験的研究	太田 仁	大道 英二	
	低温物性物理学		核磁気共鳴を主な手段とした超伝導, 磁性などに関する実験的研究	藤 秀樹	小手川 恒		
	電子物性物理学		強相関電子系物質の純良単結晶育成と物性測定による実験的研究	菅原 仁	松岡 英一		
	量子ダイナミクス		放射光やレーザー, イオン線などを用いた物質における電子, 分子, 原子のダイナミクスに関する実験的研究		岡村 英一 河本 敏郎 櫻井 誠		
化	物理化学	分子動力学	分子構造及び動的挙動, レーザー分光, レーザーによる反応制御	和田 昭英	笠原 俊二		
		物性物理化学	表面と界面の化学 超分子化合物結晶の構造と物性	大西 洋	木村 建次郎		枝 和男
		反応物理化学	分子及び分子クラスターの構造と反応	小堀 康博			
	無機化学	固体化学	結晶・非晶質固体など凝縮系物質の合成および構造・物性の評価	持田 智行 内野 隆司	高橋 一志		
		溶液化学	溶液界面(油水界面または電極表面)を用いる電気分析化学		大塚 利行		
		状態解析化学	凝縮相における分子構造と分子相互作用	富永 圭介	秋本 誠志		
学	有機化学	有機反応化学	有機化合物の合成, 反応機構及び構造. 新規な触媒的変換反応, 生理活性物質を指向した不斉合成反応の開発	林 昌彦	松原 亮介		
		生命分子科学	タンパク質の高次構造と機能, NMR分光	鏑木 基成	田村 厚夫 茶谷 絵理		
		有機分子機能	超分子有機化合物及び有機金属錯体の合成, 構造, 機能	瀬恒潤一郎	津田 明彦		

学科	大分野	教育研究分野	主 要 内 容	教 員				
				教 授	准教授	講 師	助 教	
生 物 学	生体分子機構	分子生理	動物の感覚機構、運動機構の分子レベルでの解析及び、蛋白質の分子挙動	尾崎まみこ	洲崎 敏伸	佐倉 緑		
		細胞機能	植物の無機イオン代謝、成長生理、光形態形成、発生と分化	三村 徹郎	深城 英弘 石崎 公庸		七條千津子	
		情報機構	生体内における情報伝達機構の解析	前川 昌平	宮本 昌明 森田 光洋		本庄 淳子	
	生命情報伝達	形質発現	生物における遺伝情報発現過程の分子レベルでの解析	坂本 博 井上 邦夫				北川 円
		情報伝達	タンパク質の修飾反応および相互作用による情報伝達の解析		鎌田 真司			
		遺伝情報	遺伝情報の維持・多様化とゲノム損傷応答を制御する分子機構	菅澤 薫				酒井 恒
		遺伝子機能	細胞のがん化や細胞死、胚の初期発生等における遺伝子機能の解析	深見 泰夫	影山 裕二			岩崎 哲史
	生物多様性	生態・種分化	生物多様性とその保全、環境への適応的種分化に関する教育研究を行う	角野 康郎	小菅 桂子			
		進化・系統	藻類の多様性と進化、系統分類、代謝生理、細胞構造、生態などに関する研究	川井 浩史	村上 明男	坂山 英俊	羽生田岳昭	
	地 球 惑 星 科 学	地球科学	地震学	地震現象の物理とテクトニクス	吉岡 祥一	廣瀬 仁		笥 楽磨
マグマ学			火山噴出物から噴火現象を復元する研究	巽 好幸	鈴木 桂子			
地球環境進化学			地磁気、気候、海洋環境の変動に関する古環境学的研究	兵頭 政幸				北場 育子
大陸・海洋底ダイナミクス			固体地球の構造・ダイナミクス・環境の変遷を地球物理学を主とする観測・実験的手法でさぐる	乙藤洋一郎 島 伸和				
地球及び惑星大気科学			地球、惑星の流体圏の構造と動態に関する理論的研究	林 祥介	岩山 隆寛			高橋 芳幸
惑星科学		実験惑星科学	太陽系の起源と進化に関する実験的研究	荒川 政彦	中村 昭子			
		惑星宇宙物理学	宇宙物理学と惑星系形成過程の理論的研究、ならびに系外惑星系・星形成領域・小天体の観測的研究	中川 義次 大槻 圭史	相川 祐理			
		惑星物質科学	隕石・宇宙塵・地球内部物質の鉱物科学的研究	留岡 和重				瀬戸 雄介
		非線形科学	自然と生命に関する非線形・非平衡系の研究	郡司 幸夫				春名 太一 山崎 和仁